

■笠松左太夫 紀州の大庄屋。多くの灌漑事業を成し、紙漉き業を起こして“保田紙の祖”など、村民救済に尽くした。

かさまつさだゆう

豊臣秀吉没・1598＝ 清水城が落城して日高郡笠松村に亡命し保田姓から笠松姓に変えた重郷の孫に生まれる。

__極貧のなかに育ち、

家康駿府退隠1607＝ 9歳：

島津琉球支配1609＝11歳：_働きに出ると、資産ではかなわないと、知識・教養を身につけることを決意。

支倉常長渡欧1613＝15歳：父重之が死去。

徳川家康没・1616＝18歳：

菱垣廻船始・1619＝21歳：田中氏の女と結婚。

秀忠娘入内・1620＝22歳：長男佐左衛門依定が誕生。

寛永寺創建・1625＝27歳：

徳川秀忠没・1632＝34歳：

__長年の修業で、土木工法と文書作成を身につけ、

鎖国令Ⅱ・・・1634＝36歳：この頃、三田村の自宅に戻る。

鎖国令Ⅴ・・・1639＝41歳：この年、山保田組内の古来からの五人の大庄屋が、その横暴を小百姓らに訴えられる。

寛永飢饉終・1643＝45歳：この頃、*郡奉行所から飛脚があり、初代大庄屋に任命される。製紙業を興す藩命を受け、

・・・・・・1646＝48歳：この年、「清水落城記」が成立。

__長年調査した結果、

徳川家光没・1651＝53歳：

承応事件・・・1652＝54歳：

野郎歌舞伎始1653＝55歳：_適地と見定めた小峠溝(新田)開発。

新利根川完成1654＝56歳：_大庄屋職を長男佐左衛門依定に譲って隠退すると、本格的に取り組み始め、

・・・・・・1655＝57歳：_あらぎ島(新田)開発。

・・・・・・1656＝58歳：_小峠つぶら野開発。小原下芝(新田)開発。

明暦の大火・1657＝59歳：

人身売買禁止1658＝60歳：_山和から工女を招いて、保田紙を漉き、

朱舜水帰化・1659＝61歳：三男矢之助誕生。*小峠22戸の紙漉き屋を開いて、初めて献上。紙屋御取立てを受ける。

・・・・・・1660＝62歳：*紙漉団地の山林の確定する。親子揃って、広浦御殿で拝謁。

清帝国始・・・1661＝63歳：

__この間、紙漉団地での風紀の乱れに苦慮。

酒井忠清大老1666＝68歳：沼源左衛門らを派遣し、安芸・長門から楮苗を買付ける。

ジャクインの乱 1669＝71歳：後継ぎたる長男佐左衛門が死去して衝撃を受ける。二男七九郎が大庄屋職を継ぐ。

・・・・・・1670＝72歳：_団地の男女全員に風紀乱さぬ誓約書を出させるも、なお乱れ続くなか、

・・・・・・1671＝73歳：これまで取組んできた事業の安泰を祈って、清水八幡社に太刀を奉納。三男矢之助あて遺書。

東西海運確立1672＝74歳：妻が死去。三田溝完成。

越後屋ハブソ 1673＝75歳：*一族に伝えるべく死の直前まで筆を擱かずに、没した。

高垣重造「笠松左太夫の生涯と山保田組の歴史」、